

ドローンを活用した高温登熟耐性品種「なつほのか」の栽培法の確立

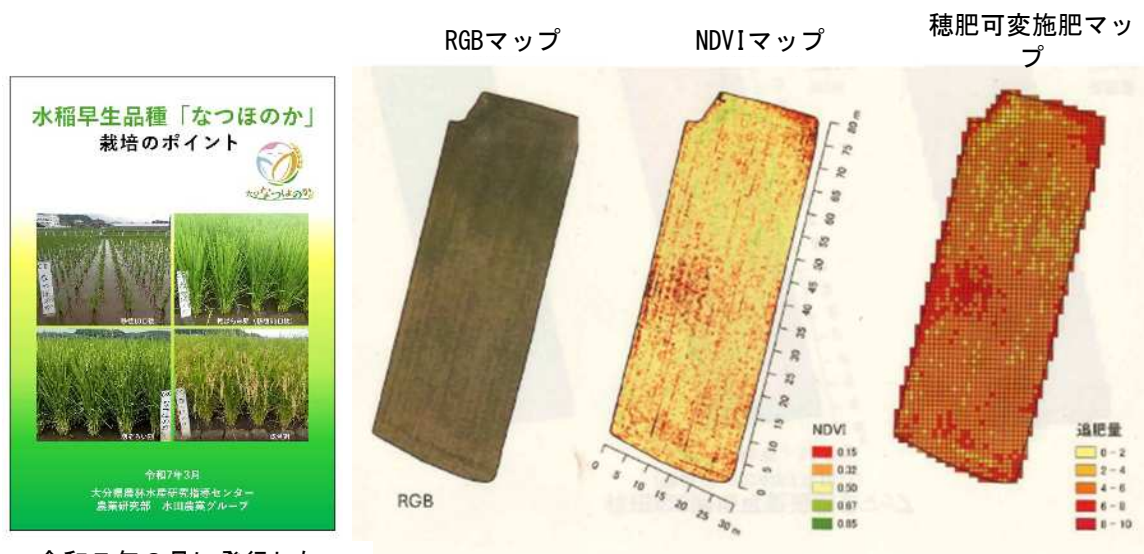
農業研究部・水田農業グループ

1. 研究の背景

「ヒノヒカリ」は近年の夏期の高温による品質低下が問題となっており、新品種導入の要望が高まっていた。そこで当県では、高温登熟耐性のある早生・良食味品種「なつほのか」を認定品種に採用した。本試験では、「なつほのか」の栽培法およびドローンを活用した穂肥の可変散布について検討した。

2. 研究成果の内容・普及のポイント

- ・「なつほのか」の適切な栽植密度や施肥量・時期、収穫適期を検討した。
- ・「なつほのか」の栽培マニュアルを発行し、県内関係機関へ配布した。
- ・ドローンセンシングによる生育把握、および穂肥の可変散布を実施した。
ドローンによる圃場の見回り時間短縮(1分/ha所要)。穂肥の可変散布により収量が約18%向上。



令和7年3月に発行した
「なつほのか」栽培マニュアル

3. 期待される効果

- ・「なつほのか」の導入で、単収向上と高品質化による生産者所得の向上
- ・「ヒノヒカリ」などの他品種との作期分散による労働負荷の軽減
- ・スマート農業活用による圃場の見回り省力化

4. 担当機関連絡先

農業研究部 水田農業グループ 水田農業チーム

TEL：0978-37-1160／FAX：0978-37-1898／住所：宇佐市大字北宇佐65